

令和元年度

第 3 回 区民参画組織 麻布を語る会 麻布地区政策分科会

次 第

日時：令和元年 7 月 16 日（火）

午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分

場所：麻布区民協働スペース

- 1 開会
- 2 前回までの振り返りと本日の流れについて
- 3 グループ討議（各地域事業の課題抽出・共有）
- 4 全体討議（グループ討議の報告及び意見交換）
- 5 その他

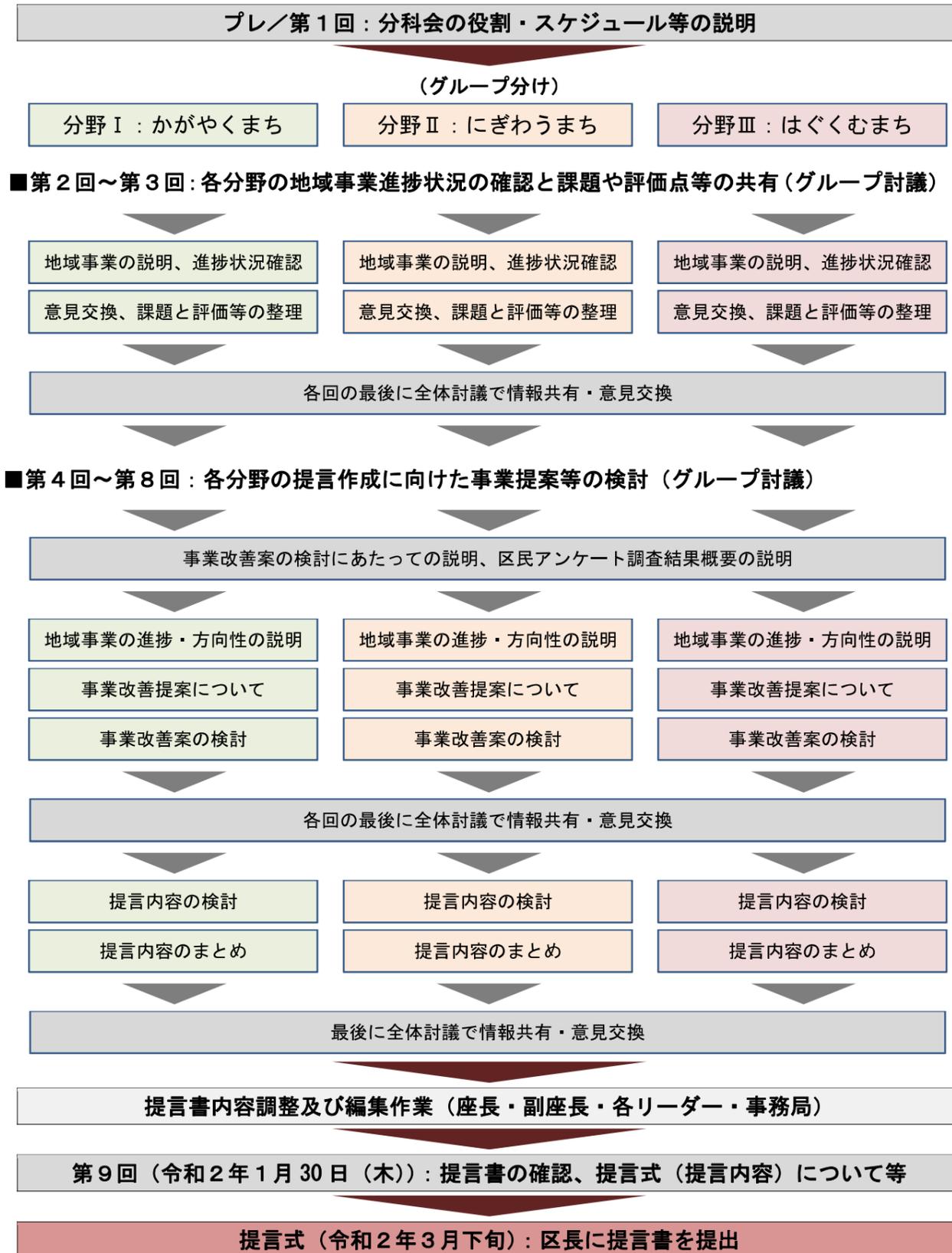
【配布資料】

資料1 提言書作成に向けた検討の進め方（案）

資料2 令和元年度 地域事業の推進について

参考資料 検討の進め方及び事業検証について（第 2 回及び第 3 回の検討内容）

提言書作成に向けた検討の進め方（案）



■第2回(令和元年6月28日(金))

達成目標 各分野検討に向けた地域の課題や魅力の共有と提言作成に向けた検討範囲の確認

検討内容

- 各グループのリーダー・サブリーダーの選出
- 各分野や各地域事業に係る麻布地区の課題や魅力等について意見交換・意見共有
- 提言作成に向けて、分科会で検討する内容・範囲の確認、共通認識を構築

■第3回(令和元年7月16日(火))

達成目標 各地域事業の進捗状況確認と課題や評価点等についての意見共有

検討内容

- 各地域事業の進捗状況報告と地域のイベントの予定等
- 各地域事業についての検証・意見交換
- 各地域事業の課題と魅力、分野での課題と魅力等について意見交換・まとめ
- 各地域事業や地域のイベントへの参加、自主活動について

■第4回(令和元年8月28日(水))

達成目標 事業提案に向けた各地域事業の方向性確認と改善提案に向けた課題等の確認

検討内容

- 事業改善案検討にあたっての説明と計画策定についての共通認識を改めて確認
- 区民アンケート調査結果概要の報告等
- 事業改善フォーム(提案)の提出についての説明
- 前回まで議論の振り返りと改めての事業改善提案に向けた課題等共有

■第5回(令和元年9月12日(木))

達成目標 各地域事業の改善等についての提案や具体的な事業提案について意見共有

検討内容

- 各メンバーから事業改善フォーム(提案)の発表と質疑
- 各メンバーからの提案について意見交換、分類、グループ内での共有
- 検討内容、提案概要について全体での共有と意見交換

■第6回(令和元年10月11日(金)) / 第7回(令和元年11月12日(火))

達成目標 各地域事業の改善点等について具体的な検討・提言作成に向けた事業提案等検討とまとめ

検討内容

- 各地域事業の改善点、各分野での課題解決に向けた提案について具体的な検討
- 提言作成に向けた提言書のイメージ共有
- 提言作成に向けた事業提案等検討のまとめ

■第8回(令和元年12月11日(水))

達成目標 各分野での提言内容のまとめと確認

検討内容

- 前回までの振り返りと提言書に掲載する内容の取りまとめ
- グループ内での提言内容最終確認
- 各分野提言内容について全体での共有と意見交換

令和元年度 地域事業の推進について

【分野Ⅰ かがやくまち】



分野Ⅰで検討する地域事業	
	六本木安全安心プロジェクト ～ルール違反ゼロの六本木へ～
	 「地域と事業所」防災連携プロジェクト ～更なる共助体制の構築をめざして～
	 みんなでエコっとプロジェクト

【分野Ⅱ にぎわうまち】



分野Ⅱで検討する地域事業	
	みんなでまちをよくする「ミナヨク」
	 AZABU WORLD FESTA
	 麻布未来写真館 ～次世代へつなぐ麻布の記憶～

【分野Ⅲ はぐくむまち】



分野Ⅲで検討する地域事業	
	地方交流事業
	 地域サロン ～ちょこっと立ち寄りカフェ～
	 麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～

■六本木安全安心プロジェクト ～ルール違反ゼロの六本木へ～

(所管課：協働推進課)

【目的】六本木地区の5つの主要課題「防犯」「環境美観」「路上喫煙」「道路使用」「営業活動」に対するまちのルールを規定した「六本木安全安心憲章」の浸透を図ることで、安全・安心なまちを実現していくことを目的とします。

【内容】地域の方々と協働により制定した“まちのルール”「六本木安全安心憲章」を、誰にでも分かりやすいルールとして周知・浸透させていくため、憲章の新デザインを活用した周知・啓発策や町会・自治会、商店会、事業所との協働によるキャンペーン活動、港区「六本木安全安心憲章推奨事業所等認証制度」の取組を実施し、安全で安心できるまちを実現していきます。

【麻布地区版計画書に計上した事業計画】

全体計画目標 平成32(2020)年度末	平成27(2015)年度～ 平成29(2017)年度	事業計画				計
		平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度		
認証制度の実施 賛同事業所数:410件 キャンペーン実施 70回 来街者等への周知	認証制度の実施* 賛同事業所数:320件 キャンペーン実施* 34回	憲章制定5周年 記念イベントの実施	体感治安アンケート 調査の実施	アンケート調査結果に 基づく推進策の実施	認証制度の実施 賛同事業所数:90件 キャンペーン実施 36回 来街者等への周知	
		認証制度の実施(賛同事業所等の増加件数)				
		30件	30件	30件		
		キャンペーン実施				
		12回	12回	12回		
		来街者等への周知				
		屋外掲示物による周知	屋外掲示物による周知	屋外掲示物による周知		
事業費(千円)	9,404	7,560	3,564	4,860	15,984	

*平成27(2015)年度～平成29(2017)年度の事業実績見込みです。

【令和元年度の事業計画：4～6月は実績】

年間スケジュール

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
・六本木安全安心プロジェクト開催 (4/25, 5/30, 6/27) ・賛同事業所を増やすための周知活動	・賛同事業所等を増やすための周知活動 ・六本木安全安心プロジェクトの開催 (月1回、8月はなし)	・賛同事業所等を増やすための周知活動 ・推奨事業所等認証制度申請受付 ・六本木安全安心プロジェクトの開催 (月1回)	・推奨事業所等認証審査会の開催 ・推奨事業所等認証式の実施 ・六本木安全安心プロジェクトの開催 (月1回、2月はなし)
令和元年7月に六本木地区の体感治安に関するアンケートを実施します。			

区民等が閲覧・見学・参加可能なイベントや取組日程

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
・六本木安全安心プロジェクト (4/25, 5/30, 6/27)	・六本木安全安心プロジェクト (7/24, 9/19)	・六本木安全安心プロジェクト (10/17, 11/28, 12/13)	・六本木安全安心プロジェクト (1/23, 3/12)

【事業の課題、評価や意見等】

区民等：事業への主な意見

■事業を見学、参加した方からの意見、またはアンケート結果等

- ・良い取り組みなので、継続して実施してほしいです。
- ・もっと認知度をあげる取組をした方がよいです。

■前回(平成28年度～平成29年度)の麻布地区政策分科会での意見

- ・六本木らしくデザインを工夫したごみ箱などを設置して、憲章のルールを知らしめ、まちの美化につなげたら良いと思います。
- ・検証マークのTシャツを作成し、周知啓発活動に活用したらよいと思います。
- ・賛同事業所であることのアピールができるよう、店舗等の出入りに憲章のステッカーを貼ったほうが良いと思います。
- ・賛同事業所であることで、チラシの印刷経費を軽減できる仕組みを作ってみたらよいと思います。
- ・賛同事業所は、飲食店が多いので憲章マーク入りのクーポンの配布やサービスを受けられるような賛同事業所の集客につながる仕組みを作ってみたらよいと思います。

■区民アンケート調査結果(令和元年度：n = 337)

【認知度】知っている：22.0%、知らない：74.8%、無回答：3.3%

【期待度】期待できる：51.9%、どちらともいえない：31.5%、期待できない：7.7%、無回答：8.9%

所管課：平成30年度の事業実績や区民等からの意見を受けての課題や改善の方向性等

- ・平成30年度は、六本木安全安心憲章が制定5周年を迎え、広く憲章を周知していくため、商店街灯へのフラッグ掲出や東京電力地上機器への憲章啓発の表示やデジタルサイネージによる周知、店舗等の協力を得て、周知啓発を行いました。
- ・前回(平成29年度)の政策分科会での意見を踏まえ、キャンペーンを実施する際のゼロ六本木のロゴの入ったベストを作成したり、実施に際しても周知方法などの工夫をしています。
- ・六本木地区の安全安心への取組は、今後も2019年ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、多くの来街者、特に外国人の来訪が多く見込まれることから、安全安心の推進をさらに行っていく必要があるため、事業継続をしたうえでさらに拡充していく必要があります。

所管課：次期麻布地区版計画書の策定に向け、同事業の継続の有無

- ・令和3年度以降も地域事業として継続して実施します。

■「地域と事業所」防災連携プロジェクト ～更なる共助体制の構築をめざして～

(所管課：協働推進課)

【目的】事業所の防災力の更なる向上と、災害時に地域と事業所が円滑に連携できるネットワークを構築することを目的とします。

【内容】麻布地区をいくつかの区域分けした上で、モデル地域を設定し、ネットワーク会議を設置していきます。また、事業所向けの講演会等の実施や区ホームページなどにより情報発信を強化していくことで、会議に参加しなくても情報が共有できる取組を実施します。

【麻布地区版計画書に計上した事業計画】

全体計画目標 平成32(2020)年度末	平成27(2015)年度～ 平成29(2017)年度	事業計画			計
		平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	
エリアごとの ネットワーク会議の 設置 1か所 講演会、ワークショップ 6回	事業所防災 ネットワーク全体会議 の実施*	エリアごとのネットワーク会議			調査結果を踏まえた エリアごとのネットワーク 会議の設置 1か所 講演会、ワークショップ 6回
		事業所へのアンケート 調査の実施 会議の設置に向けた 地区内のモデル地域 の選定	会議の試行設置 1か所	会議の本格設置 1か所	
事業費(千円)	9,283	5,400	5,000	5,000	15,400

*平成27(2015)年度～平成29(2017)年度の事業実績見込みです。

【令和元年度の事業計画：4～6月は実績】

年間スケジュール

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<ul style="list-style-type: none"> 本村小地区防災協議会へのヒアリングと避難所運営マニュアルの作成。 本村小地区の参加事業者の抽出と参加依頼及び顔合わせ。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練、ワークショップの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会の開催 来年度の活動計画

区民等が閲覧・見学・参加可能なイベントや取組日程

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
		<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練 (11/10) 	

【事業の課題、評価や意見等】

区民等：事業への主な意見

■事業を見学、参加した方からの意見、またはアンケート結果等

- ・地域と事業者のつながりを強める取組はよいことです。
- ・事業所防災ネットワーク会議の位置づけがよくわかりません。
- ・防災講演会は、非常にためになった今後も継続して実施してほしいです。

■前回（平成28年度～平成29年度）の麻布地区政策分科会での意見

- ・事業所防災ネットワーク会議は、規模が大きく伝わらないので小規模な単位（エリアを絞って）開催していった方がよいと思います。
- ・企業間のつながりを活用して、大企業だけでなく中小企業へ広げた方がよいと思います。
- ・参加事業者を対象とした講演会や勉強会を開催し、情報共有していくと良いと思います。
- ・麻布地区に特化した情報提供や防災用品の割引等、事業者の参加促進につながる取組をした方がよいと思います。
- ・ビルの防火管理者や事業者の防災担当者へアプローチしたほうがよいと思います。
- ・SNSやホームページを活用した情報発信や情報共有の方法を充実したほうがよいと思います。

■区民アンケート調査結果（令和元年度：n = 337）

【認知度】知っている：14.2%、知らない：82.5%、無回答：3.3%

【期待度】期待できる：52.5%、どちらともいえない：36.8%、期待できない：2.1%、無回答：8.6%

所管課：平成30年度の事業実績や区民等からの意見を受けての課題や改善の方向性等

- ・平成30年度から事業名を変更して、地域と事業者の関わりを強める取組としてきました。
- ・ネットワーク会議の小エリア化の一環として、モデル地区として本村小地区防災協議会のエリアを選定しました。今後、大使館や地区内の事業者の連携を深める取組を実施していきます。
- ・防災講演会、ワークショップは、毎回、好評であることから引き続き実施していきます。
- ・モデル地区として選定した本村小地区防災協議会のエリア内での事業者や大使館の連携強化のほか、地域防災協議会の活性化につながる取組としても支援を行っていきます。

所管課：次期麻布地区版計画書の策定に向け、同事業の継続の有無

- ・令和3年度以降は、平成30年度からの事業実施の状況を検証し、事業廃止を含め、より効果的な地域事業として見直しをします。

■みんなでエコっとプロジェクト

(所管課：まちづくり課)

【目的】子どもたちを対象に、知る・見る・体験することを通じて、自然環境や生き物を大切にすることを育んでもらうことを目的とします。

【内容】自然環境やリサイクルに関する取組を行う事業所等と連携し、バードウォッチングや生き物観察、自然散策、リサイクルなどをテーマに、参加する親子が自ら考え、学ぶことができるワークショップを実施します。

【麻布地区版計画書に計上した事業計画】

全体計画目標 平成32(2020)年度末	平成27(2015)年度～ 平成29(2017)年度	事業計画			
		平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	計
ワークショップの実施 27回	ワークショップの実施* 9回	ワークショップの実施(・自然観察・生き物観察・リサイクル、エコ)			ワークショップの実施 ・自然観察 ・生き物観察 ・リサイクル、エコ 18回
		6回	6回	6回	
事業費(千円)	2,245	1,706	1,706	1,706	5,118

*平成27(2015)年度～平成29(2017)年度の事業実績見込みです。

【令和元年度の事業計画：4～6月は実績】

年間スケジュール

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
・事業内容の企画検討 ・第1回エコっとプロジェクトの開催(6/9:「トンボやヤゴがいっぱい!アークヒルズ仙石山森タワーでいきものを観察してみよう!」13組32名が参加)	・第2回エコっとプロジェクトの開催(7/28:「すてきな花器を作ってお花をいけてみよう!」)	・第3回エコっとプロジェクトの開催 ・第4回エコっとプロジェクトの開催	・第5回エコっとプロジェクトの開催 ・第6回エコっとプロジェクトの開催

区民等が閲覧・見学・参加可能なイベントや取組日程

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
・第1回エコっとプロジェクトへの参加・見学(6/9)	・第2回エコっとプロジェクトへの参加・見学(7/28:参加者募集中)	・第3回エコっとプロジェクトへの参加・見学 ・第4回エコっとプロジェクトへの参加・見学	・第5回エコっとプロジェクトへの参加・見学 ・第6回エコっとプロジェクトへの参加・見学

【事業の課題、評価や意見等】

区民等：事業への主な意見

■事業を見学、参加した方からの意見、またはアンケート結果等

- ・都会の中の自然に目を向ける機会ができて良かったです。
- ・いつも訪れている場所ですが、新たな発見がありとても有意義でした。
- ・もの作りをするにあたって「自由」なアイデアで自由にももの作りを体験できる点が素晴らしいです。それがエコにつながると最高です。
- ・子どもが工作好きなので、それと自然観察のくみあわせなので、子どももやる気がでてよかったです。
- ・普段は遊具のある所にしか行かないのですが、葉っぱや木の観察だけでも楽しいものなのだと再発見しました。
- ・身近な場所で様々な自然を発見できるところが良いと思います。
- ・「エコっとプロジェクト」という企画自体があまり良く知られていないと思いますが、学校の配布物等で知ることがあればまた参加したいです。

■前回(平成28年度～平成29年度)の麻布地区政策分科会での意見

- ・自然とのふれあいが伝わる絵画展示をしてはよいのではないですか。
- ・回数と規模を拡大してほしいです。
- ・学校やこどもが多く集まる場所で周知したほうがよいです。
- ・多くの事業所との連携や事業所が所有する緑地を活用したほうがよいです。
- ・渡り鳥や昆虫の観察等、季節性のある活動や趣味に関するイベントを企画したほうがよいです。

■区民アンケート調査結果(令和元年度：n = 337)

【認知度】知っている：16.9%、知らない：78.3%、無回答：4.7%

【期待度】期待できる：49.0%、どちらともいえない：37.1%、期待できない：3.9%、無回答：10.1%

所管課：平成30年度の事業実績や区民等からの意見を受けての課題や改善の方向性等

- ・麻布地区政策分科会の提言を受け、平成30年度より、体験イベントの回数を年間3回から6回に増やしています。
- ・これまで“環境やエコ”をテーマとして「生き物」や「自然」に関する体験イベントを開催していましたが、平成30年度からは、新たに「リサイクル」に関する体験イベントを、新たな主体と連携し追加開催しています。
- ・新たな「リサイクル」に関する体験イベントを含め、参加者からはおおむね良い評価をいただいています。
- ・今後も引き続き参加者のご意見を踏まえ、事業内容を検証しながら取り組んでまいります。

所管課：次期麻布地区版計画書の策定に向け、同事業の継続の有無

- ・令和3年度以降も地域事業として継続して実施します。

■みんなでまちをよくする「ミナヨク」

(所管課：協働推進課)

【目的】 地域に愛着を持って地域活動を行う次世代のコミュニティリーダーを発掘・育成し、新しい地域のつながりを構築していくことを目的とします。

【内容】 20代から40代を対象に、“知（地域やアイデアのつくり方を知る）”、“感（地域を実際に見て、話を聞く）”、“創（地域をよくするアイデアを考える）”、“共（地域の皆さんに共感してもらう）”を行う講座「ミナヨク」を実施します。また、講座参加者のアイデアの実現に向け、講座修了生と地域との連携を支援するとともに、講座修了生同士の交流の場を創出することで、継続的に地域コミュニティに関わりが持てる取組を実施します。

【麻布地区版計画書に計上した事業計画】

全体計画目標 平成32(2020)年度末	平成27(2015)年度～ 平成29(2017)年度	事業計画				計
		平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度		
講座の実施 184名 講座修了生の 交流イベントの実施 3回	講座の実施* (ワークショップ) 94名	講座の実施(ワークショップ、アイデアの検証)			講座の実施 (ワークショップ、 アイデアの検証) 90名	
		30名	30名	30名		
		講座修了生の交流イベントの実施			講座修了生の 交流イベントの実施 3回	
		1回	1回	1回		
事業費(千円)	12,098	7,500	7,500	7,500	22,500	

*平成27(2015)年度～平成29(2017)年度の事業実績見込みです。

【令和元年度の事業計画：4～6月は実績】

年間スケジュール

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<ul style="list-style-type: none"> 講座内容の企画検討 講座参加者募集 (6/27～8/9) 	<ul style="list-style-type: none"> 体験イベント実施 (7/27) Day1 実施 (8/24) DayY2 実施 (9/7) Day3 実施 (9/28) 	<ul style="list-style-type: none"> Day4 実施 (10/26) Day5 実施 (11/16) Day6 実施 (12/14) ミナヨク修了生交流イベント (1回) 自主活動 (10/26、11/16、12/7) 	<ul style="list-style-type: none"> Day7 実施 (1/18) ミナヨク修了生交流イベント (1回)

区民等が閲覧・見学・参加可能なイベントや取組日程

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
	<ul style="list-style-type: none"> 体験イベント実施 (7/27) Day1 実施 (8/24) DayY2 実施 (9/7) Day3 実施 (9/28) 	<ul style="list-style-type: none"> Day4 実施 (10/26) Day5 実施 (11/16) Day6 実施 (12/14) ミナヨク修了生交流イベント (1回) 自主活動 (10/26、11/16、12/7) 	<ul style="list-style-type: none"> Day7 実施 (1/18) ミナヨク修了生交流イベント (1回)

【事業の課題、評価や意見等】

区民等：事業への主な意見

■事業を見学、参加した方からの意見、またはアンケート結果等

- ・ミナヨクで活動したことで、自分から行動を起こせることに気づくことができました。活動を行っていくには仲間が必要なので、ミナヨクで出会った仲間たちと活動していきたいです。
- ・新しい共助のあり方を築きあげられたので、とても良い企画でした。
- ・たくさんの学びがあった。大事なのはこれから自分がどう動くかが重要だと気づけました。
- ・会社と家庭以外の場所で新しい活動に参加できました。
- ・一人で考えていると凝り固まってしまうが、複数人でアイデアを練ることで、広がりや生まれることを感じ、色んな人の意見に価値があると思いました。
- ・麻布のまちに興味がある方々が多く、具体的な取組までを行うプログラムが良かったです。
- ・他地域の類似事業と比べ、若い参加者が多いのは良いです。
- ・ゲストトークが参考になりました。
- ・まちづくりに関してビギナー向けの価値がありました。
- ・チーム全体の底上げをするサポートがなかったです。
- ・序盤はもう少し全体としての交流が促せた方が良かったです。
- ・拘束時間が長く、参加者に偏りが出ていました。集まりの悪い日が多々見られました。

■前回（平成28年度～平成29年度）の麻布地区政策分科会での意見

- ・地域とのつながり、活動の場を求める区民等へのきっかけづくりとして、事業継続して欲しいです。
- ・ミナヨク修了者と町会・自治会、商店街とつながるサポーター制度をつくったらよいと思います。

■区民アンケート調査結果（令和元年度：n = 337）

【認知度】 知っている：12.5%、知らない：83.4%、無回答：4.2%

【期待度】 期待できる：44.5%、どちらともいえない：40.1%、期待できない：5.0%、無回答：10.4%

所管課：平成30年度の事業実績や区民等からの意見を受けての課題や改善の方向性等

- ・サポートを充実させるために、支援業者の担当者を複数体制としました。
- ・参加者同士の交流を促すために講座終了後に交流の場を設けています。
- ・去年までは終日講座が数日開催していましたが、すべての日程を半日にして、時間を短くしました。
- ・令和元年度は平日夜間や土曜昼間開催から、すべての日程を土曜日の午後開催とし、参加者が参加しやすいようにしました。
- ・周知チラシを麻布地区の区立幼稚園、保育園、小学校及び中学校の全園児、児童、生徒の人数分に配布しました。

所管課：次期麻布地区版計画書の策定に向け、同事業の継続の有無

- ・令和3年度以降は、事業実施の状況を検証し、より効果的な地域事業として見直しをします。

■AZABU WORLD FESTA

(所管課：協働推進課)

【目的】 地域や行政が実施するイベント等に参加したことがない区民が、気軽に参加できるイベントを通じて、地域を知り、様々な人々と交流できる機会を創出することで、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とします。

【内容】 国際色豊かな地域の特色を生かし、外国人をはじめ、子どもから高齢者まで世代を問わず好まれるスイーツ等と麻布地区の文化・歴史資源を巡りながら楽しめるイベントを実施します。イベントの実施に当たっては、これまでに培ってきた地域の人材を活用するとともに、麻布地区の商店会や企業、大使館等と協働し、外国人でも気軽に参加可能な周知方法を工夫します。

【麻布地区版計画書に計上した事業計画】

全体計画目標 平成 32(2020)年度末	平成 27(2015)年度～ 平成 29(2017)年度	事業計画			
		平成 30(2018)年度	平成 31(2019)年度	平成 32(2020)年度	計
イベントの実施 3 回	—	イベント(スタンプラリー&交流イベント)			イベントの実施 3 回
		イベントの企画 試行イベントの実施 1 回	イベントの実施 1 回	イベントの実施 1 回	
事業費(千円)	31,188*	4,038	6,460	6,460	16,958

*「AZABU WORLD FESTA」は、平成 29 年度まで実施していた「麻布国際ふれあい事業」と「麻布フェスタ」を統合した事業です。そのため、平成 27(2015)年度～平成 29(2017)年度の事業費は、2 事業の合計額です。

【令和元年度の事業計画：4～6月は実績】

年間スケジュール

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<ul style="list-style-type: none"> イベント内容の企画・検討の実施 実施時期検討 他課との調整 	<ul style="list-style-type: none"> 契約準備（見積書の請求および必要経費の概算） 委託事業者の決定 契約手続き 出展国（大使館）との調整 	<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練での英語通訳ツアー（11月） ラリーイベント実施日程（予定）11月上旬～下旬 	<ul style="list-style-type: none"> 地方交流事業との連携

区民等が閲覧・見学・参加可能なイベントや取組日程

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
		<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練での英語通訳ツアー（11/10） ラリーイベント実施日程（予定）11月上旬～下旬 	<ul style="list-style-type: none"> 地方交流事業との連携

【事業の課題、評価や意見等】

区民等：事業への主な意見

■事業を見学、参加した方からの意見、またはアンケート結果等

【カードラリー】

- ・カードラリーは、多くの参加者が参加できてよかったと思います。
- ・参加者からの意見聴取の機会を設けた方がよいと思います。
- ・広報の仕方や実施機関、参加世代の拡大など見直しをした方がよいと思います。
- ・スイーツやベーカリー以外の店舗も範囲を広げてほしいです。
- ・開催期間を拡大してほしいです。

【小鹿野町との交流】

- ・小鹿野町との文化交流は、南山小学校とも連携できてよかったです。
- ・日本の伝統文化が地域に根付いていて感動しました。
- ・体験できたのが良かったです。
- ・とても有意義で子どもも大人も楽しめて、参加できてよかったです。
- ・もう一度歌舞伎を見てみたい。

【ザ・民謡】

- ・伝統文化を後世まで続けてほしい。
- ・港区にいながらにして本格民謡をたくさん聞きたいです。
- ・とても良い企画。若い人にも聞いてほしい。

■前回（平成 28 年度～平成 29 年度）の麻布地区政策分科会での意見

- ・ミナヨク修了者の活躍の場として、スイーツフェスタ、街コン、地域特性イベントを開催してみたらよいと思います。
- ・イベント実施にあたっては、区民ボランティアの活用をしてみたらよいと思います。

■区民アンケート調査結果（令和元年度：n = 337）

【認知度】 知っている：21.4%、知らない：74.2%、無回答：4.5%

【期待度】 期待できる：55.5%、どちらともいえない：29.7%、期待できない：4.5%、無回答：10.4%

所管課：平成 30 年度の事業実績や区民等からの意見を受けての課題や改善の方向性等

- ・地域 SNS アプリ「PIAZZA」やウェブサイトを広報・イベント参加ツールとして活用していきます。
- ・開催期間や参加店舗数の拡大をしていきます。
- ・地方交流事業で関連がある埼玉県小鹿野町へのジオツアー参加応募券で、子育て世代の関心を高めま
- す。
- ・ジオツアー参加応募券等で参加者の声を聴き、ニーズを把握して、来年度以降に反映します。

所管課：次期麻布地区版計画書の策定に向け、同事業の継続の有無

- ・令和 3 年度以降は、平成 30 年度からの事業実施の状況を検証し、より効果的な地域事業として見直しをします。

■麻布未来写真館 ～次世代へつなぐ麻布の記憶～

(所管課：協働推進課)

【目的】麻布地区の歴史やまちの移り変わりを、写真をとおして広く伝えていくことで、地域への共感や愛着を深めてもらうことを目的とします。

【内容】区民参画組織「麻布を語る会 麻布未来写真館分科会」が主体となり、麻布地区の昔の写真を収集するとともに、定点写真等を撮影し、まちの変化を保存していきます。
また、企業、大学、他の地域事業との連携によるパネル展の開催、ICT（情報通信技術）を活用した写真パネルの公開を行います。

【麻布地区版計画書に計上した事業計画】

全体計画目標 平成32(2020)年度末	平成27(2015)年度～ 平成29(2017)年度	事業計画			
		平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	計
パネル展開催 35回	パネル展開催* 14回	パネル展開催 ・麻布地区総合支所 ・ありすいきまきプラザ ・麻布図書館 ・フジフィルムスクエア ・東洋英和女学院 ・地区内の銀行及び病院			パネル展開催 21回
パネルの常設展示 4か所	パネルの常設展示* 4か所	パネルデータの公開 ICTを活用した公開 ICTを活用した公開 ICTを活用した公開			パネルの常設展示 4か所
事業費(千円)	13,636	3,996	4,540	4,540	13,076

*平成27(2015)年度～平成29(2017)年度の事業実績見込みです。

【令和元年度の事業計画：4～6月は実績】

年間スケジュール

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
・分科会開催：4回 (4/18、5/15、6/6、6/9・15) ・まち歩き(撮影)：2日程 ・パネル企画展示：1回 (麻布地区総合支所：6/18～)	・分科会開催：2回 (7/11、9月上旬) ・パネル作成(グループワーク) ・パネル企画展示：1回 (麻布図書館との連携予定)	・分科会開催：3回 ・まち歩き(撮影)：2日程 ・パネル作成(グループワーク) ・パネル企画展示：1回 ・交流イベント：1回 (地域サロンとの連携)	・分科会開催：3回 ・パネル作成(グループワーク) ・パネル企画展示：2回 (5か所での開催を予定) ・交流イベント：1回 (地域サロンとの連携)
・パネル常設展示(継続4か所、新規1か所検討) ・成果物(これまでに作成したパネル等)の活用方策検討及びICT(AR技術)を活用した情報発信の実施 ・地域SNSアプリ等を活用した事業周知やメンバー募集、資料募集の検討・実施			

区民等が閲覧・見学・参加可能なイベントや取組日程

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
・パネル企画展示	・パネル企画展示	・パネル企画展示 ・交流イベント	・パネル企画展示 ・交流イベント
・分科会やまち歩き(撮影)の見学・スポット参加(分科会メンバー随時募集) ・パネル常設展示(麻布地区総合支所2階、麻布区民協働スペース、都立中央図書館、有栖川宮記念公園事務所掲示板) ・Webで公開されているこれまで作成したパネル、ARアプリに登録されている画像等			

【事業の課題、評価や意見等】

区民等：事業への主な意見

■事業を見学、参加した方からの意見、またはアンケート結果等

- ・麻布の今昔がわかる貴重な写真展示の数々、とても興味深く見させていただいた。
- ・この先麻布のまちはどう変化してくのか、子どもと一緒に考える機会となりました。
- ・再開発前の昔の麻布の写真を見られ、なつかしい気持ちになりました。
- ・よい企画展、もっとやって欲しいです。
- ・AR体験パネルは、機器の説明がわかりづらかったです。
- ・戦前の写真をたくさん見たいです。
- ・平成30年間を通して街並みがどう変わったのかの展示をしてほしいです。
- ・全体にパネルがコンパクトにまとめられていて、ちょっと詰め込み過ぎのように感じました。

■前回(平成28年度から平成29年度)の麻布地区政策分科会での意見

- ・他の事業と連携し、新たな場所でのパネル展の開催を希望します。
- ・写真にこだわらない今昔の比較展示等を企画したらよいと思います。
- ・港区ホームページからの情報発信と併せ、SNSを活用したらよいと思います。
- ・企業や大学と連携し、モバイルアプリを作成してみたらよいと思います。

■麻布未来写真館分科会メンバーからの意見

- ・分科会メンバーをもっと増やしていく必要があると思います。
- ・他の事業との連携や管内学校等との交流・連携を進めていきたいです。
- ・常設展示場所での展示方法等について検討の余地があります。
- ・事業周知用のパンフレット等を作成し、分科会メンバーが積極的に周知活動をしていきたいです。

■区民アンケート調査結果(令和元年度：n = 337)

【認知度】知っている：31.5%、知らない：64.1%、無回答：4.5%

【期待度】期待できる：44.5%、どちらともいえない：39.5%、期待できない：5.9%、無回答：10.1%

所管課：平成30年度の事業実績や区民等からの意見を受けての課題や改善の方向性等

- ・これまでの成果物としてのパネルがアーカイブとしてしっかりと保存されている一方、今後はその整理と活用方法検討について力を入れていく必要があります。
- ・現行計画でICTを活用した情報発信の実施ということでARを活用したパネルや画像の公開を行ったが、次期計画では次の展開を検討する必要があります。
- ・事業周知のため、分科会メンバーによる地域SNSアプリ「PIAZZA」を活用した情報発信を試行中。また、これまでの成果であるパネルの貸出しや公的な施設や機関以外での展示、他の事業との連携イベント等の実施の具体案の検討をする予定です。
- ・次世代へつなぐために、六本木高校や東洋英和の学生との交流を検討しています。
- ・参加メンバーの募集チラシを新たに作成し、新メンバーの参加を促すことで、多様な意見を取り入れながら事業を継続実施していく予定です。

所管課：次期麻布地区版計画書の策定に向け、同事業の継続の有無

- ・令和3年度以降も地域事業として継続して実施します。

■地方交流事業

(所管課：管理課・協働推進課)

【目的】豊かな自然を体験する機会を設け、児童の健全育成を促すとともに、他自治体との交流をとおり互いの地域の魅力や歴史を知る機会を創出することを目的とします。

【内容】自然や農業、伝統文化などを体験できる交流事業を実施することにより、児童の健全な育みを促すとともに他自治体への関心が深まる取組を実施します。また、地域のイベントの際に特産品の販売を行うほか、交流事業実施時に現地児童との交流を図るなど、双方向の交流事業とします。新たな自治体との交流事業については、「自治体間連携推進の基本的な考え方」に基づき、麻布地区との連携・交流が可能な自治体を調査し、交流事業を企画していきます。

【麻布地区版計画書に計上した事業計画】

全体計画目標 平成32(2020)年度末	平成27(2015)年度～ 平成29(2017)年度	事業計画			
		平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	計
交流事業 227名	交流事業実施* 107名	交流事業			交流事業 120名
		40名	40名	40名	
新たな交流事業		新たな交流事業			新たな交流事業
		交流先の調査	交流先の調査・連携事業の企画	新たな交流事業の企画	
事業費(千円)	11,914	3,482	3,482	3,482	10,446

*平成27(2015)年度～平成29(2017)年度の事業実績見込みです。

【令和元年度の事業計画：4～6月は実績】

年間スケジュール

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<ul style="list-style-type: none"> 山形県舟形町役場と打ち合わせ(4月～6月 月数回程度) 舟形町視察(5月) 参加者募集(6月) *チラシ配布対象団体：71団体、チラシ配布枚数：約4,000枚 小鹿野町役場と打ち合わせ(6月) 	<ul style="list-style-type: none"> 公開抽選会(7月) 参加者決定(7月) 参加者説明会(7月) 実施日(8月2日～4日) 小鹿野町PR出(9月) 麻布支所、区役所ロビー 	<ul style="list-style-type: none"> 「麻布地区サマースクール in 舟形町」パネル展実施(10月) 小鹿野町へのツアー(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 舟形町と打ち合わせ(2月：日程、宿泊施設) 日程確定、参加者及び募集対象確定(3月) 小鹿野の歌舞伎芝居(2月) 麻布区民ホール 小鹿野町PR出(2月) 麻布支所、区役所ロビー

区民等が閲覧・見学・参加可能なイベントや取組日程

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
	<ul style="list-style-type: none"> 「麻布地区サマースクール in 舟形町」本番 小鹿野町PR出(9月) 麻布支所、区役所ロビー 	<ul style="list-style-type: none"> 「麻布地区サマースクール in 舟形町」パネル展 麻布支所ロビー 小鹿野町へのツアー(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 小鹿野の歌舞伎芝居(2月) 麻布区民ホール 小鹿野町PR出(2月) 麻布支所、区役所ロビー

【事業の課題、評価や意見等】

区民等：事業への主な意見

■事業を見学、参加した方からの意見、またはアンケート結果等

- ・なかなか山や川に行くことのない子にとって、とても有意義な時間を過ごせました。
- ・子どもは舟形町に住みたいといっています。
- ・鮎のつかみ取りも、虫取りも一人だと(家族だけ)しないが、みんなでするので、出来ないこともトライできるようになりました。
- ・盛り沢山な内容とスタッフ皆さんのお蔭で、親子ともども楽しく過ごしました。ありがとうございました。
- ・初めて陶芸をやったこと、勾玉づくりをしたこと、近くで花火が見られたことが楽しかったです。

■前回(平成28年度～平成29年度)の麻布地区政策分科会での意見

- ・保護者の人数を減らして、子どもの参加を増やすべきです。
- ・地方との継続的なつながりがあるとよいです。
- ・逆に港区に来てもらえるような事業があるとよいです。
- ・一方向にならない取組が必要です。
- ・パネル展を拝見し、参加者の満足度が大変高い事業であると感じたので継続して行ってほしいです。
- ・提携先を増やしていくとよいです。

■区民アンケート調査結果(令和元年度：n = 337)

【認知度】知っている：13.9%、知らない：81.0%、無回答：5.0%

【期待度】期待できる：37.1%、どちらともいえない：49.3%、期待できない：3.9%、無回答：9.8%

所管課：平成30年度の事業実績や区民等からの意見を受けての課題や改善の方向性等

- ・子どもの参加人数を増やすべきといったご意見をいただき、令和元年度からは保護者の参加人数が子どもの参加人数を超えないように、1家族に対して保護者の参加人数が子どもの参加人数を超えないようにチラシに記載し参加者の募集をかけました。
- ・舟形町立舟形中学校の中学生による舟形町の特産品の物販と町のPRとして「縄文の女神」等の土器についてのプレゼンを麻布地区総合支所で実施しました。
- ・舟形町立舟形中学校の中学生による舟形町の指定無形民俗文化財「堀内田植え踊り」を麻布地区総合支所で披露を行いました。
- ・麻布地区総合支所のレストランささらで舟形町特産品(マッシュルーム等)を使用したランチを提供しました。
- ・継続的なつながりを持つために、パネル展以外にも舟形町との継続的な交流ができるようにサマースクール当日より前の7月中旬に舟形町の歴史等に関する学習会を実施予定です。
- ・麻布十番商店街と交流が深い埼玉県小鹿野町の協力により、小鹿野の地元歌舞伎芝居の化粧、着付け、立ち回りや和楽器の演奏など日本文化体験イベントを行いました。

所管課：次期麻布地区版計画書の策定に向け、同事業の継続の有無

- ・令和3年度以降も地域事業として継続して実施します。

■地域サロン ～ちよこっと立ち寄りカフェ～

(所管課：区民課)

【目的】高齢者が、住み慣れた地域で孤立することなく、安心して自分らしくいきいきと生活できるよう気軽に集い学べる場を提供するとともに、地域におけるボランティアを養成し、地域住民が互いに支え合う仕組みづくりを支援していくことを目的とします。

【内容】高齢者が誰でも気軽に立ち寄り「ふれあい・憩い」と「いきがい・自己啓発」の場である地域サロンを実施するとともに、他の地域事業等と交流できる機会を設けることで、様々な世代の参加を促します。また、事業周知の充実や運営に携わる地域ボランティアの養成も実施していきます。

【麻布地区版計画書に計上した事業計画】

全体計画目標 平成32(2020)年度末	平成27(2015)年度～ 平成29(2017)年度	事業計画			
		平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	計
サロンの運営 232回	サロンの運営* 112回	サロンの運営 ・飯倉いきいきプラザ ・ありすいきいきプラザ ・西麻布いきいきプラザ ・南麻布いきいきプラザ			サロンの運営 120回
		40回	40回	40回	
ボランティア養成 49名	ボランティア養成* 19名	ボランティア養成			ボランティア養成 30名
		10名	10名	10名	
事業費(千円)	10,265	3,370	3,370	3,370	10,110

*平成27(2015)年度～平成29(2017)年度の事業実績見込みです。

【令和元年度の事業計画：4～6月は実績】

年間スケジュール

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
・サロンの運営 (12回) (延234名) ・ボランティア養成 (4名)	・サロンの運営 (8回)	・サロンの運営 (12回)	・サロンの運営 (8回)

区民等が閲覧・見学・参加可能なイベントや取組日程

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
・ちよこっと立ち寄りカフェ (4/3、11、18、24、5/1、9、16、 22、6/5、13、20、26) ボランティア養成講座 (5/15、29、 6/5)	・ちよこっと立ち寄りカフェ (7/3、11、18、24、9/4、12、19、 25)	・ちよこっと立ち寄りカフェ (10/2、10、17、23、11/6、14、 21、27、12/4、12、19、25)	・ちよこっと立ち寄りカフェ (1/8、9、16、22、3/4、12、19、 25)

【事業の課題、評価や意見等】

区民等：事業への主な意見

■事業を見学、参加した方からの意見、またはアンケート結果等

【参加者が「また来たい」と思った理由】

- ・幸せになれるから / 楽しいから / 色々な人と話が出来るから / いろいろ楽しいことを知るチャンスである / なごやかなこと / うれしい / テーマが楽しい / いろいろと計画をたててくださり話しもできるし元気をいただいて楽しい / 話しと笑いがある / お友達ができる / とてもやさしく色々おしえてくれる / 料金は安く参加しやすい / スタッフさんが大勢いらしてヘルプして下さる

■事業運営スタッフからの意見

- ・一人ひとりの参加者によりきめ細かく対応できるよう、運営スタッフ及びボランティアのスキル向上を図ります。
- ・男性参加者の増加を図ります。
- ・参加人数が多いときにも円滑な運営ができるよう準備します。
- ・より多くのボランティアにかかわってもらえるよう、地域でのサロンの周知を充実させます。

■前回（平成28年度～平成29年度）の麻布地区政策分科会での意見

- ・男性の参加者を増やすためのコンテンツを充実させるとよいと思います。
- ・他の地域事業の成果物や人材を活用するとよいと思います。
- ・会場の施設特性を活用して世代を超えた交流の場を創出するとよいと思います。

■区民アンケート調査結果（令和元年度：n = 337）

【認知度】知っている：19.3%、知らない：76.6%、無回答：4.2%

【期待度】期待できる：43.9%、どちらともいえない：35.0%、期待できない：5.9%、無回答：9.8%

所管課：平成30年度の事業実績や区民等からの意見を受けての課題や改善の方向性等

- ・ちよこっと立ち寄りカフェを着実に実施し、より一層地域に事業を浸透させていきます。
- ・他の地域事業の成果や人材を活かしたサロン運営を促進します。
- ・参加者やスタッフ、講師など、サロンを通じて地域における交流が広がるよう努め、地域の方による運営ボランティアを養成していきます。
- ・若い世代が参加できるイベントの開催などにより、多世代交流の取組を充実します。

所管課：次期麻布地区版計画書の策定に向け、同事業の継続の有無

- ・令和3年度以降も地域事業として継続して実施します。

■麻布の魅力探訪事業 ～あざぶ達人ラボ～

(所管課：協働推進課)

【目的】区民等が、麻布地区の歴史や文化などの魅力を知り、知ったことを次世代へ語り伝えていくことで、地域への関心や愛着を深めてもらうことを目的とします。

【内容】麻布の歴史や文化などの魅力を伝える公開セミナーを、麻布図書館等と連携して開催します。また、これまでのあざぶ達人倶楽部の講座修了者によるまち歩きの実施や、他の地域事業と連携して麻布の歴史を語る場を創出することで、区民等に対して麻布の魅力を学ぶ機会を提供していきます。

【麻布地区版計画書に計上した事業計画】

全体計画目標 平成32(2020)年度末	平成27(2015)年度～ 平成29(2017)年度	事業計画				計
		平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度		
公開セミナーの開催 6回	講座の実施*	公開セミナーの開催			公開セミナーの開催 6回	
既存まち歩きマップの 再編集、活用 4種類		既存まち歩きマップの再編集、活用			既存まち歩きマップの 再編集、活用 4種類	
他事業との連携 2回		他事業との連携			他事業との連携 2回	
ラボの運営		ラボの運営			ラボの運営	
事業費(千円)		21,538	4,493	4,500	4,500	13,493

*平成27(2015)年度～平成29(2017)年度の事業実績見込みです。

【令和元年度の事業計画：4～6月は実績】

年間スケジュール

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
<ul style="list-style-type: none"> キックオフミーティング 図書館連携セミナー打合せ 地域サロンとの連携セミナー打合せ 企画会議開催 ガイドツアー企画会議 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館連携セミナー企画会議 ガイドツアー企画会議 地域サロンとの連携セミナー開催 公開セミナー企画会議 	<ul style="list-style-type: none"> 全体会 図書館連携セミナー開催 公開セミナー企画会議 ガイドツアー企画会議 講演会講師との打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会実施 来年度活動内容の検討

区民等が閲覧・見学・参加可能なイベントや取組日程

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
	<ul style="list-style-type: none"> 図書館連携セミナー(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域サロンとの連携セミナー(10月) まち歩きガイドツアー(計4回) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域サロンとの連携セミナー(1月) 講演会(3月開催予定)

【事業の課題、評価や意見等】

区民等：事業への主な意見

■事業を見学、参加した方からの意見、またはアンケート結果等

【まちあるき】

- ・知らない場所であったり、発見するも多く、個人ではなかなか歩けないコースを楽しく歩きました。
- ・標示板などが何もないところでも説明があつてよかったです。

【講演会】

- ・スリパチへ地形への愛があふれ出す。楽しいお話でした。高低差ソフトを画面に重なる表現手法は大変わかりやすく、興味をそそられました。プレゼンとしても明解でよかったです。
- ・近代的なイメージの多い港区ですが、谷町には昔ながらの町が広がっていることを知り、大変興味深いものがありました。
- ・疑問と思っていたことの解決につながり、改めて街歩き楽しんでみたいと思いました。
- ・町と地形を通して俯瞰してみるきっかけを得て、勉強になり、とても楽しかったです。
- ・50年以上住んでいて、川や街並み、旧建築物、坂などは見てきましたが、地形(谷地、窪地)という観点からは考えたことがなかったため、街歩きに新たな視点を与えていただいたと感じています。

■あざぶ達人ラボメンバーからの意見

- ・まちあるきは好評ですぐに定員に達したため、参加できない方がいました。
- ・ちょこっと立ち寄りカフェとの連携事業で得た情報を(以前作成した)「あざぶカルタ」の更新に生かしたいです。
- ・連携事業の継続と周知方法の工夫をする必要があると思います。

■前回(平成28年度～平成29年度)の麻布地区政策分科会での意見

- ・受講生だけでなく一般区民も参加できる公開講座をつくったらよいと思います。
- ・歴史上の一時点に焦点をあてた講座内容で実施したらよいと思います。
- ・他の地域事業と連携し、歴史を語り継ぐ場をつくっていったらよいと思います。
- ・修了生を講師やボランティアガイドとして派遣したらよいと思います。
- ・受講生が作成したマップの配布場所を拡大し、利用促進につなげたらよいと思います。

■区民アンケート調査結果(令和元年度：n = 337)

【認知度】知っている：19.3%、知らない：76.6%、無回答：4.2%

【期待度】期待できる：43.9%、どちらともいえない：41.8%、期待できない：5.6%、無回答：8.6%

所管課：平成30年度の事業実績や区民等からの意見を受けての課題や改善の方向性等

- ・多くの方が参加できるようにまちあるきの回数を2回から4回に増やします。
- ・イベント参加者から得た新しい情報を「あざぶカルタ」の一部更新に反映します。
- ・ガイドとして活用する機会を設けるため、ちょこっと立ち寄りカフェや麻布図書館と連携して講演会やセミナーを引き続き行います。
- ・事業周知のため、広報みなど、区のFacebookや地域SNSアプリ「PIAZZA」の活用をしていきます。

所管課：次期麻布地区版計画書の策定に向け、同事業の継続の有無

- ・令和3年度以降も地域事業として継続して実施します。